

# ノリ養殖情報 ( 第 18 報 )

令和6年2月22日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

今回の調査は18回目です。

今年度は、10月中旬から3月下旬までに月に3～4回、合計23回の陸上調査を予定しています。

## 1. 調査結果

調査日: 2月18日(日) 天候:くもり 気温: 17.8 ( 21:16 時点)

(今回(2/18)の水温等の測定時間帯 21:20～23:05) 前回と調査時間帯が異なります。

(前回(2/13)の水温等の測定時間帯 5:30～7:28)

調査点		水温		比重 15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 2月13日	今回	今回	前回 2月13日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻	支柱	11.5	9.0	22.3	/	1.3	/	/	/
2. 神代	支柱	11.7	9.3	22.3	0.8	3.2	5.4	+++	なし
3. 大野浜	支柱	12.7	9.3	22.4	6.8	1.6	0.9	+	++
4. 半田	支柱	12.7	9.5	22.4	4.0	10.6	2.4	++	++
5. 三会	支柱	13.0	9.9	22.7	3.4	5.3	2.0	なし	なし

長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施します。

栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

## 主な植物プランクトン (単位:細胞/mL)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻	
	スケイトネマ属	キートセロス属	レプトシリンドラス属	ユーカンビア属	リソソレニア属
2. 神代	188	551	53	185	7
3. 大野浜	0	9	10	26	0
4. 半田	15	23	25	4	6

## 調査結果概要

- ・水温は、11.5 ~ 13.0 。 海水比重( 15)は、22.3 ~ 22.7。
- ・漁場に設置している温度計の2月13日から2月18日迄の測定結果は、平均温度は10.2 ~ 11.0 で、昨年より1.0 ~ 1.3 高く推移しました。
- ・栄養塩は、0.8 ~ 6.8  $\mu\text{g-at/L}$ で、4観測点全てでノリ養殖における期待値7.0  $\mu\text{g-at/L}$  を下回りました。
- ・あかぐされ病は神代で重症、半田で目視レベル、大野浜で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は大野浜・半田で目視レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、珪藻類(キートセロス属、ユーカンピア属)が優占していました。

## 2. 赤潮発生状況

福岡県:有明海福岡県海域で珪藻のユーカンピア ゾディアクスの細胞数の増加を確認しました(2月13日)。

佐賀県:川副町地先から東与賀町地先、および白石町地先から太良町地先にかけて、大型珪藻(ユーカンピア)による赤潮が確認されています(2月19日)。

熊本県:横島地先から熊本港地先にかけて、珪藻類(優占種:スケルトネマ属)による赤潮が発生しています。また、ユーカンピア属も広範囲で確認されています(2月15日)。

## 3. 他県の情報

福岡県:1~2回目の摘採が行われています。アカは9調査点で確認され、軽度が6点、中度が2点、重度が1点でした。色落ちは15調査点で確認され、軽度が1点、中度が1点、重度が13点でした(2月19日)。

佐賀県:摘採や活性処理等が行われています。針状細菌は24点中1点、糸状細菌が2点確認されました。アカは、24点中15点(肉眼視レベル7点、顕微鏡レベル8点)確認されました。ツボは、24点中3点(肉眼視レベル2点、顕微鏡レベル1点)確認されました。筑後川河口域(沖合漁場)から太良町地先まで色調の低下が確認されました(2月13日)。

熊本県:アカを21地点(24地点中)で確認しました。色調低下及び色落ちが全域で見られました。網上げ作業が一部の漁場で行われていました(2月15日)。

## 4. 本県の情報

浮き流し漁場と支柱漁場で摘採が行われています。

### ノリ網の検鏡結果

- ・あかぐされ病が3漁場で確認されました。
- ・壺状菌病が2漁場で確認されました。
- ・付着珪藻はリクモフォラ、タビュラリアが確認されました。
- ・葉長は43.4 ~ 231.4mmの範囲で、平均は60.5 ~ 155.4mmでした。